

# 地域課題の解決に向けた取組

## 木質バイオマス資源の安定供給による地域創生の取組

上川南部森林管理署

### はじめに

当署管内は、北海道のほぼ中央に位置し管内市町村面積の55%を国有林が占める森林の多い地域です。

また、十勝岳、芦別岳、タ張岳などの雄大な山々は、大雪山国立公園や富良野芦別道立自然公園に指定され、保全すべき地域でもあります。

### 木質バイオマス資源の安定供給による地域創生

道内各地で木質バイオマスによる大規模発電施設が稼働している中、熱利用は未だ点的な広がりにとどまっています。

管内の南富良野町では、公共施設等の熱利用のために設置されている木質ボイラーの燃料や、管外の大規模発電施設への燃料供給を目的とした木質チップの製造・乾燥施設が設置されています。

近年、これら木質チップの需要が高まっており、木質バイオマス資源の安定供給による地域創生に向けた取組が期待されています。

### これまでの取組の概要

#### 「バイオマス対応型フォワーダの有効な活用に向けて」

木質バイオマス資源の安定供給を図るため、林地未利用材の効率的な集荷を目的に、南富良野町森林組合に導入されている「バイオマス対応型フォワーダ」の有効な活用方法等を南富良野町、南富良野町森林組合との連携により、当署においては「バイオマス検討プロジェクトチーム」を設置し検討を進めています。



【バイオマス対応型フォワーダ】  
※荷台の圧縮・拡張機能が備わったフォワーダ

まずは、バイオマス対応型フォワーダによる「積込」、「運搬」、「荷下」方法を検討するため、積込時の「前処理」から土場への「巻立」までについて下記の3パターン

で工程調査を行い、コスト面での検証を実施しました。

工程調査の結果、パターンAのバイオマス対応型フォワーダのみで「積込」、「運搬」、「荷下」

を行うパターンが最も効率的であることが実証され、林業関係者を対象に開催した現地検討会では実際の作業のデモンストレーションを行い、広く意見交換を実施しました。

#### 「木質バイオマスに関するシンポジウムの開催」

また、地域創生に向けた取組として、林業関係者だけでなく地域の住民の方々を対象に「木質バイオマスを活用した地域創生を考える」をテーマにシンポジウムを開催し「木質バイオマス活用による地域活性化について」の基調講演やパネルディスカッションによる意見交換を行い、約180名の参加者とともに地

パターン別の工程調査結果

パターン	前処理	積込	運搬	荷下	巻立	経費 (円/ADT)
A	グラップル	バイオマス対応型フォワーダ	バイオマス対応型フォワーダ	グラップル	グラップル	3,857
B	グラップル	バイオマス対応型フォワーダ	バイオマス対応型フォワーダ	グラップル	グラップル	4,276
C	グラップル	グラップル	クローラダンプ	グラップル	グラップル	3,986

域の木質バイオマスの将来を考えました。



木質バイオマスに関するシンポジウムの様子

### 今後の展開

今後はバイオマス対応型フォワーダを活用し、通常で実施している間伐の作業システムにおいて林地未利用材の収集を行った場合の生産性への影響を把握するとともに、効率的な収集方法等について検討することとしています。

また、南富良野町内で生産される木質チップの出荷先・用途を把握し、地域の資源量を踏まえた持続可能な生産量の見通しについて引き続き関係機関との連携により検証を行うこととしています。